

突然 裏山が崩れる！

すぐ裏の山があなたの家に
襲いかかってきたとしたら…
山地災害はある日突然やってきます。

平成24年7月九州北部豪雨により、人家・市道等が被災（熊本県阿蘇市）
平成24年8月
梅雨前線豪雨により
人家等が被災
(京都府宇治市)



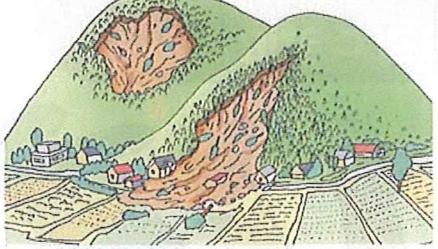
危険箇所を知ろう！

あなたの町の山地災害のおそれのある箇所がどこにあるのかを
知っておくことは、災害に備えるためにとても大切です。

身近に危険な箇所があるかどうか、
日頃から防災マップなどで確認しておきましょう。

●山地災害危険地区については、市町村または都道府県の出先事務所にお問い合わせ下さい。

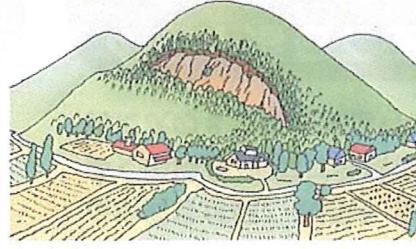
山くずれが起こりやすいところ



- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく、くずれやすい地質である
- 過去に山くずれがあった
- 山くずれがあった場所に隣り合っている
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である
- ときどき落石がある

[山くずれ]
雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が突然くずれ落ちる現象です。

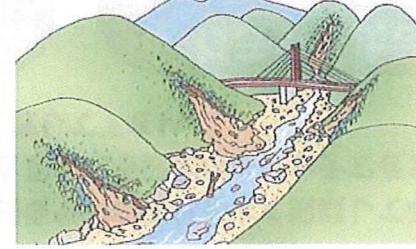
地すべりが起こりやすいところ



- 過去に地すべりのあったところで、
今も少しずつ動いている
- わき水や地下水が豊富である
- 断層や、もろく、くずれやすい岩石がある
- 火山や温泉の影響で粘土化した土がある

[地すべり]
地下水などの影響により、粘性土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象です。

土石流が起こりやすいところ



- 渓流が急である
- 渓流に大きな石やたくさんの土砂がある
- 上流が山くずれなどで荒れている
- 過去に土石流があった

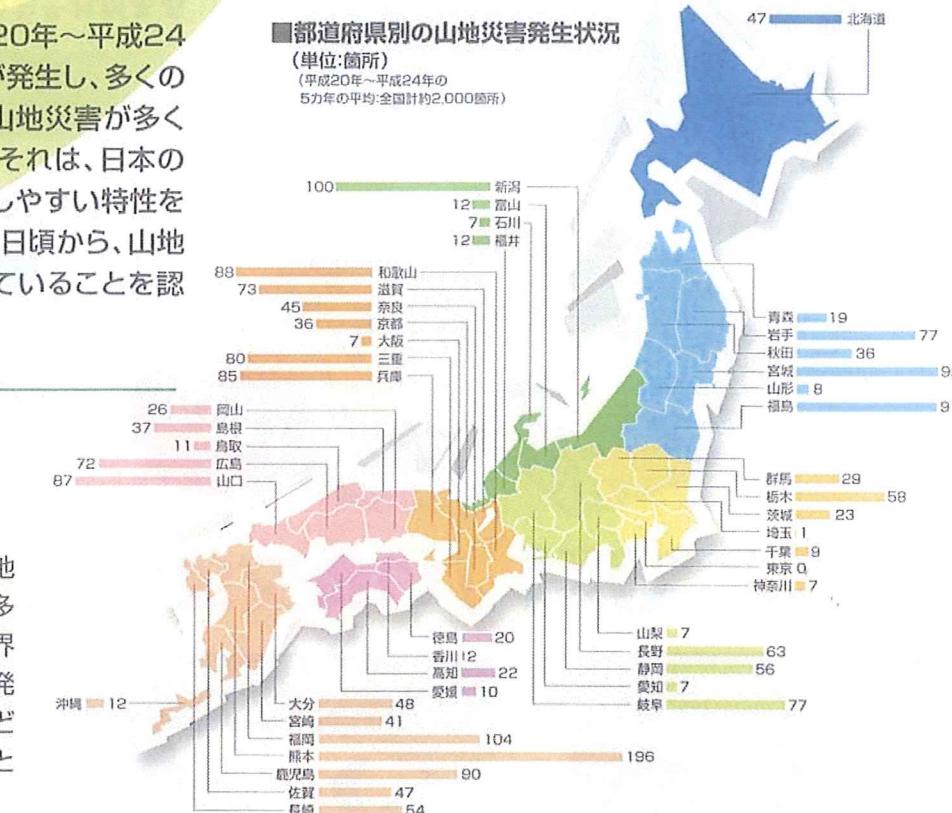
[土石流]
山の斜面が壊れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水といっしょに一気に下流に押し流される現象です。

山地災害はなぜ多い？

特有の自然条件

日本では毎年約2,000箇所(平成20年～平成24年の5カ年の平均)もの山地災害が発生し、多くの被害をもたらしています。日本で山地災害が多く発生するのはどうしてでしょうか。それは、日本の地形や気候条件が山地災害を起こしやすい特性を持っているからです。わたしたちは日頃から、山地災害の危険と隣り合わせに暮らしていることを認識しておかなければなりません。

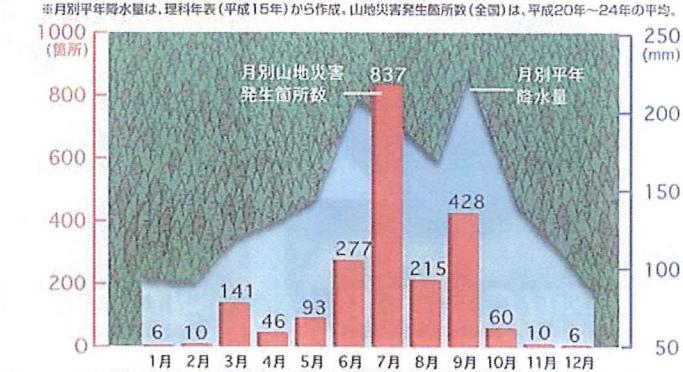
■都道府県別の山地災害発生状況
(単位:箇所)
(平成20年～平成24年の5カ年の平均:全国計約2,000箇所)



災害の起こりやすい地形

日本の国土は、険しい山が続く複雑な地形をしており、川の流れは狭く、急流が多い特徴があります。一方、プレートの境界に位置するため、地震や火山活動が活発であり、山くずれや土石流、地すべりなどの山地災害の危険を常に抱えているといえます。

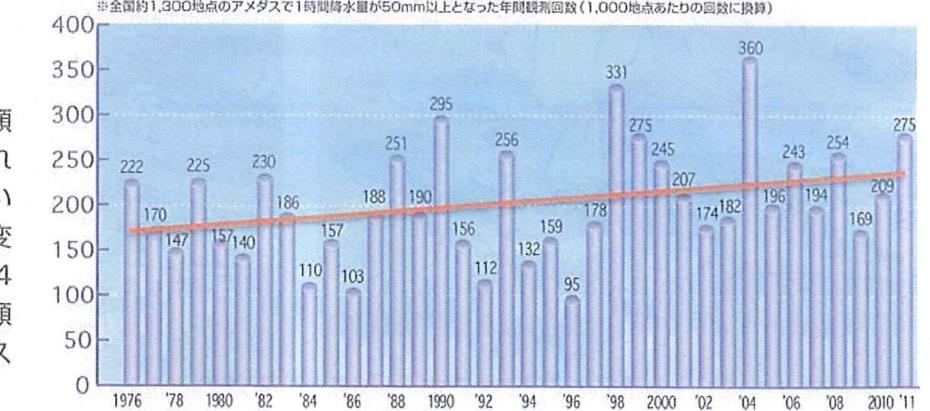
月別降水量と山地災害発生箇所数

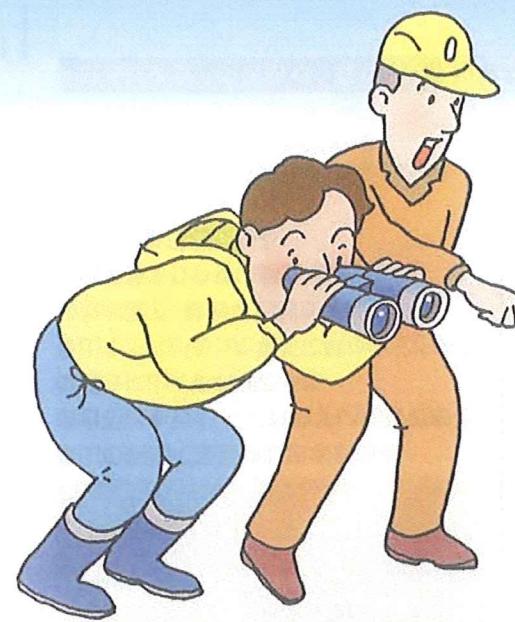


局地的な集中豪雨の増加

近年は局地的な集中豪雨が頻発する傾向が強まっており、地域によってはこれまでにない甚大な被害が発生しやすい状況となりつつあるといえます。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次報告書では、今後強い降雨現象が頻度を増す可能性が非常に高く、洪水リスクを増加させると報告しています。

1時間降水量50mm以上の年間観測回数





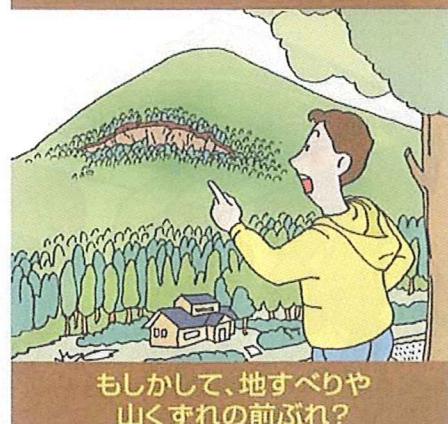
山地災害の危険信号を見逃すな！

8つの危険信号に注意して下さい。

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、多くの場合、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。特に次の8つの危険信号に注意して下さい。

3 龜裂が走った

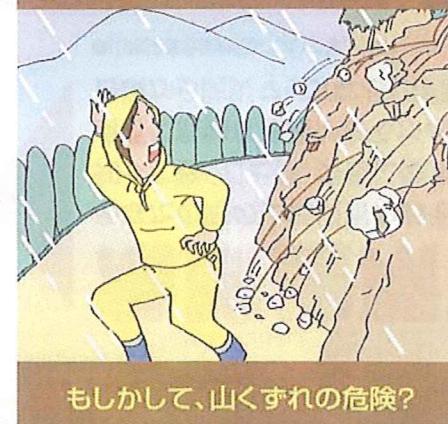
山の木が傾いたり斜面に亀裂が走った



もしかして、地すべりや山くずれの前ぶれ？

4 石が落ちてきた

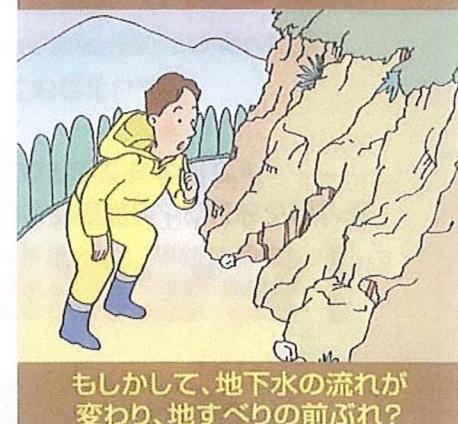
山の斜面から石が転がり落ちてきた



もしかして、山くずれの危険？

5 わき水が止まった

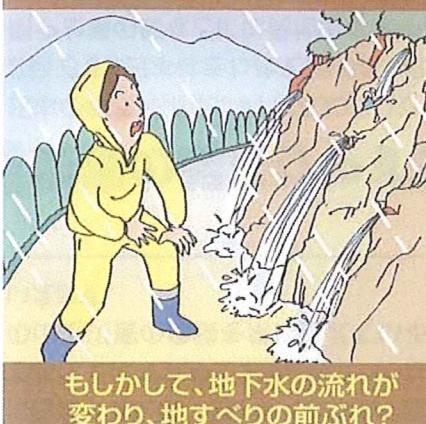
今までかれたことのないわき水が止まった



もしかして、地下水の流れが変わり、地すべりの前ぶれ？

6 わき水が増えた

わき水の量が急に増えた



もしかして、地下水の流れが変わり、地すべりの前ぶれ？

7 井戸水がにごった

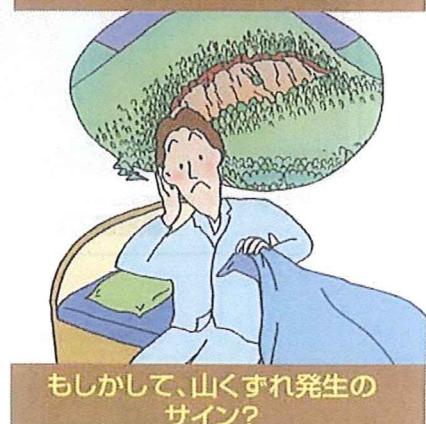
普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた



もしかして、上流の沢の山くずれが原因？

8 地鳴りがする

地鳴りの音が聞こえてきた



もしかして、山くずれ発生のサイン？

危険信号をキャッチしたら！

山くずれなどのおそれがある箇所では、テレビなどの気象情報に注意しましょう。



すぐ避難！



危険を感じたら、早めに指定された場所へ避難しましょう！



すぐ通報！



災害が起こったら、すぐに110番か119番に通報しましょう！

あぶない！



ふだんから

家族や地域ぐるみで山くずれのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。

